

父母離婚後（父の戸籍に在籍している子を母の戸籍に異動するために）

《子の氏を父の氏【東海】から母の氏【愛知（旧姓の場合）】又は【東海（婚氏続称の場合）】へ変更する場合の記載例》

受付印	子の氏の変更許可申立書 (満15歳未満の子に関する申立用) 名古屋家庭裁判所 御中
郵便受付 当直受付	(この欄に収入印紙をはる。子1人につき800円)
収入印紙 円	(はった印紙に押印しないでください。)
予納郵便切手 円	

準口頭	関連事件番号 平成 年(家 )第 号
添付書類	子の戸籍謄本1通, 父・母の戸籍謄本1通(離婚の場合, 離婚の記載のあるもの) ※本籍は戸籍謄本のとおり書き写し, 住所は確実に郵便が届くように丁寧に記載してください。

申立人代理人(15歳未満の子の法定代理人=親権者又は後見人)	
法定代理人の本籍	注)母の新戸籍謄本(離婚後)の本籍地を省略せずに記入してください。 府県 市区 一丁目4番1号
法定代理人の住所 電話	〒 - 注)母の住所をマンション名まで省略せずに記入してください。 市区 一丁目4番1号 ハイツ401号 昼間連絡のとれる電話番号 090 ( )
フリガナ 法定代理人の氏名	(必ず法定代理人本人が押印) 注)母の現在(離婚後)の氏名を記入してください。 ア仔 ハコ 愛知(婚氏続称の場合は東海) 花子 認め印で可 印

申立人	本籍	注)父の戸籍謄本の本籍地を省略せずに記入してください(子と父は同じ戸籍のため)。 府県 市区 一丁目7番1号	
	住所	法定代理人と同じ(同じ場合は、の中にレ点をつければこの欄は記載不要) 注)母と同じ住所の場合はレ点をつける。	
(子)	フリガナ 氏名	トウカイ ミコ 注)子の氏は父の氏と同じ	平成 年 月 日生
申立人	本籍	上記申立人と同じ(同じ場合は、の中にレ点をつければこの欄は記載不要)	
	住所	注)子が二人以上いる場合は申立人②③の欄を使用し, 本籍・住所が申立人①と同じ場合は, 口にレ点を付け, 子の氏名とフリガナ, 生年月日を記入してください。	
(子)	フリガナ 氏名		平成 年 月 日生
申立人	本籍	上記申立人と同じ(同じ場合は、の中にレ点をつければこの欄は記載不要)	
	住所		
(子)	フリガナ 氏名		平成 年 月 日生
提出日	平成 年 月 日 注)提出日の日付を記入してください。		

【注意事項】 本籍地は戸籍謄本のとおり, 住所は確実に郵便が届くように省略せずに正確に記載(「一丁目4番1号」のように記載)してください。

注)子の現在の氏(父の氏)を記入してください。

注)母の現在の氏を記入してください。

申立ての趣旨	
① 母	注)母の氏が旧姓の場合
申立人の氏( 東海 )を	2 父 の氏( 愛知 又は 東海 )に変更することの許可を求める。
3 父母	注)母の氏が婚氏続称の場合

あてはまる番号ひとつを で囲み, ( )内に具体的な氏を記入してください。

申立ての理由	
父,母と子が異なる氏になった理由	
① 父母が離婚したため。	
2 父母が結婚したため。	
3 父母が養子縁組して氏が変わったため。	
4 父母が養親と離縁して氏が変わったため。	
5 父による認知のため。	
6 父(母)が死亡後,母(父)がもとの姓に戻った(復氏した)ため。	
7 父母が離婚した後,母(父)の氏を称する入籍をしたため。	
8 その他(具体的に )	
注)父母が離婚して子と母の戸籍が別々になった場合は となります。	
あてはまる番号ひとつを で囲んでください。8の場合は( )内に具体的に記入してください。	
申立ての動機(理由)	
① 母と暮らしていく上で母と同じ氏で同じ戸籍のほうが便利だから。	
2 父と暮らしていく上で父と同じ氏で同じ戸籍のほうが便利だから。	
3 入園,入学のために必要があるので。	
4 就職のために必要があるので。	
5 結婚のために必要があるので。	
6 その他(具体的に )	
注)母と子が同じ住所の場合は となります。	
あてはまる番号ひとつを で囲んでください。6の場合は( )内に具体的に記入してください。	